

事業所名		チャイルドルームぱるーと				支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	9 月	1 日
法人（事業所）理念		障害を一つの個性ととらえ、得意なことを伸ばし社会で活躍できるようにする									
支援方針		得意なことを伸ばしつつ、社会で活躍できるようにソーシャルスキルの獲得ができるように支援する									
営業時間			13 時	30 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	子どもたちが日常生活を快適に過ごせるよう、生活習慣の確立に関する支援しています。身の回りの整理整頓、時間管理などの生活動作、手洗いやうがいといった衛生管理の習慣を身に付けられるよう努めます。安全意識の向上にも取り組み、交通ルールや公共の場でのマナーについての学びも行います。									
	運動・感覚	可能な限り子どもたちの発達段階に応じた運動プログラムを取り入れています。触覚・感覚を刺激する課題を通じて、身体の使い方を学び、姿勢の維持等の支援を行います。									
	認知・行動	自身の感情や他者の感情、適切な行動を理解・把握し、日常生活の中で必要な判断力や適応力を身につけられるよう支援を行います。									
	言語コミュニケーション	ソーシャルスキルトレーニングやライフスキルトレーニングを通じて、会話の流れや質問の仕方、相手の話を聞く姿勢を学びます。ロールプレイを活用し、実際の場面を想定しながら会話の練習を行い、実践的なスキルを身につけます。また、ジェスチャー、表情、アイコンタクトなどを通じて非言語コミュニケーションも学びます。									
	人間関係社会性	子どもたちが社会の中で適切な関わり方を学び、他者との円滑なコミュニケーションができるよう支援を行います。主にソーシャルスキルトレーニング等を行い、他者の感情理解や他人とのコミュニケーション方法の獲得を促します。									
家族支援		定期的な面談や支援のフィードバックを通して、お子様の成長の様子を保護者の方と共有しています。必要に応じて家庭での関わり方や、日常生活でのサポートの仕方のフォローを行い、保護者の方が安心して子育てできる環境づくりをサポートします。要望に応じて、家族支援加算Ⅰを算定する面談を実施しています。					移行支援	子どもたちが地域社会の中で成長できるよう、関係機関と適宜連携しながら支援を行います。			
地域支援・地域連携		成長する過程や生活環境が変わる際に次のステップへスムーズに移行できるよう支援を行います。					職員の質の向上	定期的に研修を行い、それぞれの専門性の共有を行っています。また、日頃からお子様についての情報交換を密に行い、スタッフ間の連携を図っています。			
主な行事等		年に一回地域との交流会を実施									